

平成21年度後志総合振興局管内訪日外国人宿泊者数調査の概要

1 調査基本事項

(1) 調査内容

後志管内全20市町村の調査結果を基に市町村毎の宿泊施設等における宿泊外国人を集計。

(2) 調査対象期間

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(3) 調査項目

国別宿泊実人数 国別宿泊延人数

参 考～宿泊施設等とは、旅館業法第2条の規定による次の施設及び船舶。

ホ テ ル～シティホテル、リゾートホテル など

旅 館～旅館、公営宿泊施設 など

簡易宿所～ペンション、民宿 など

そ の 他～船舶（観光目的で入国した者が宿泊した場合のみ）

上記の内、カプセルホテル、同伴ホテル等は除く。

2 調査結果概要

(1) 外国人宿泊延数の状況

管内の外国人宿泊延数は、対前年比110.0%、約28,000人増の約313,000人となった。

韓国や台湾は大きく数を減らしたが、昨年減少となった豪州が増加となったことに加え、韓国・台湾以外のアジアの国々に大きな増加がみられ、特に中国は前年同期の2倍近い増加がみられたことから、今後の動向がさらに注目される。

	宿泊延数	対前年比
H21年度	312,511人	110.0%
H20年度	284,179人	98.6%
H19年度	288,156人	139.7%

(2) 季節別外国人宿泊延数の状況

季節別で比較すると、春～秋季は減少しており、特に夏季は約12,000人の減少となったが、冬季は約42,000人の増加となった。

		春（4、5月）	夏（6～9月）	秋（10、11月）	冬（12～3月）
H21年度	宿泊延数	8,715人	36,947人	12,227人	254,622人
	構成比	2.8%	11.8%	3.9%	81.5%
H20年度	宿泊延数	10,012人	48,539人	13,097人	212,531人
	構成比	3.5%	17.1%	4.6%	74.8%
H19年度	宿泊延数	9,565人	46,349人	12,439人	219,803人
	構成比	3.3%	16.1%	4.3%	76.3%

(3) 宿泊延数上位5市町村（10,000人以上）

市町村別に比較すると倶知安町が約168,000人で6年連続の1位となり、対前年比も120.5%と2年ぶりに増加となった。また、上位5市町村で管内宿泊延数の99.8%を占めている。

		宿泊延数	対前年比	主要国	構成比
1位	倶知安町	167,646人	120.5%	豪91.9千人、香36.7千人、星12.3千人	53.6%
2位	小樽市	49,434人	103.0%	香21.2千人、台湾7.2千人、韓6.3千人	15.8%
3位	二セコ町	42,052人	133.0%	香15.8千人、豪5.3千人、台3.8千人	13.5%
4位	留寿都村	37,224人	74.9%	香6.9千人、豪6.7千人、韓5.7千人	11.9%
5位	赤井川村	15,618人	103.7%	香11.2千人、中1.7千人、台0.9千人	5.0%

(4) 宿泊延数上位6カ国(10,000人以上)

国別で比較すると、豪州が6年連続で1位となり、対前年比111.2%(+10,551人)と2年ぶりに増加となった。また香港が対前年比153.3%(+32,128人)、シンガポールが対前年比130.3%(+5,783人)とともに大幅な増加となった。そして中国が対前年比197.1%(+7,279人)と初めて宿泊延数が1万人を超えた。

一方で、韓国が対前年比52.0%(-13,845人)、台湾が対前年比74.7%(-6,166人)と大幅な減少となった。

		宿泊延数	対前年比	平均泊数	構成比
1位	豪州	104,513人	111.2%	5.1泊	33.4%
2位	香港	92,446人	153.3%	1.9泊	29.6%
3位	シンガポール	24,845人	130.3%	1.8泊	8.0%
4位	台湾	18,203人	74.7%	1.1泊	5.8%
5位	韓国	15,016人	52.0%	1.5泊	4.8%
6位	中国	14,773人	197.1%	1.2泊	4.7%

【豪州】

豪州は、昨年度は減少に転じたが、平成21年度は平成19年度ベースまで持ち直した。(対平成19年度比99.7%)

市町村別の内訳は、全体の約9割が倶知安町となっている。

平均泊数は5.1泊で、他国が1~2泊台であるのと比較すると長期滞在の傾向となっている。

また、全体の99.1%が冬季(12~3月)の来訪であるのも特徴である。

対前年増減数~ +10,551人(主な内訳: 倶知安町+8,189人、ニセコ町+1,836人、留寿都村+405人)

【香港】

香港は、対前年比153.3%(+32,128人)と、昨年に引き続き大幅な増加となった。

市町村別では、倶知安町が36,712人とほぼ昨年度の倍の人数で最も多く、小樽市が21,180人で、これに続いている。

全体の67.4%が冬季(12月~3月)に集中しているのも特徴である。

対前年増減数~ +32,128人(主な内訳: 倶知安町+18,422人、ニセコ町+7,170人、小樽市+3,511人)

【シンガポール】

シンガポールは、対前年比130.3%(+5,783人)と昨年に引き続き順調に増加している。

市町村別では、倶知安町が12,318人で最も多く、留寿都村が5,504人でこれに続いている。

また、全体の88.5%が冬季(12月~3月)の来訪であるのも特徴である。

対前年増減数~ +5,783人(主な内訳: 倶知安町+4,479人、小樽市1,076人、ニセコ町+911人)

【台湾】

台湾は、対前年比74.7%(-6,166人)と昨年に引き続き減少した。

市町村別では、小樽市が7,237人で最も多く、留寿都村が5,244人、ニセコ町が3,771人で続いている。しかし小樽市とニセコ町では、対前年比66.1%(-3,716人)、70.2%(-1,601人)と減少している。

対前年増減数~ -6,166人(主な内訳: 小樽市-3,716人、ニセコ町-1,601人、赤井川村-647人)

【韓国】

韓国は、これまで順調に数字を伸ばしていたが、平成21年度は対前年比52.0%(-13,845人)と大きく減少した。

市町村別では、小樽市が6,288人で最も多く、留寿都村が5,709人で続いている。

対前年増減数~ -13,845人(主な内訳: 留寿都村-10,352人、赤井川村-2,601人、小樽市-1,902人)

【中国】

中国は、ここ数年で急激な伸びを示しており、今年度の宿泊延数が14,773人(対前年比197.1%)と、初めて1万人を超えた。

市町村別では、小樽市が5,706人で最も多く、ニセコ町が3,604人でこれに続いている。

また、全体の83.6%が冬季(12月~3月)の来訪であるのも特徴である。

対前年増減数~ +7,279人(小樽市+2,940人、ニセコ町+2,207人、赤井川村+1,017人、倶知安町+735人)

宿泊延数上位 5 カ国の過去 5 年間の推移

